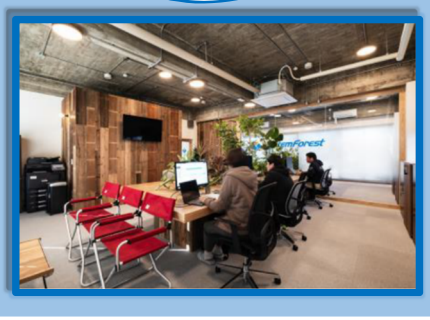
働きやすさ、
効率化を求めて

株式会社　システムフォレスト

設　　立：2004 年
所 在 地：熊本県人吉市相良町
事業内容：クラウドソリューション事業
　　IOT/AI ソリューション事業
従業員数：３４名

令和３年９月現在



1．テレワーク導入目的

会社設立時から、移動時間の削減による生産性向上の目的でテレワークを導入している。その後、育児や介護など、通勤や自宅を離れるのが難しい事象がある労働者も活躍できるように全社員に導入した。働きやすい環境を求めた結果、テレワークの導入に至っている。

2．導入にあたっての課題や不安をどう克服したか。

課　題　や　不　安	克　服　方　法
○ 労働時間の管理方法 テレワークでは業務の開始と終了時間がわかりづらい。	・クラウドツールの導入で業務の開始、在席、休憩中、業務終了等の情報をリアルタイムで把握することが可能。正確に勤務時間を管理することができる。
○ 作業の進捗状況や成果の把握方法 テレワークでは部下や同僚の働きぶりがみえず、業務状況が分かりづらい。	・プロジェクト管理ツールの導入で個人の進捗状況、開発工数等について一括に管理できる。タスクを可視化することができ、容易に業務全体の把握が可能。
○ セキュリティについて テレワークでは情報漏洩等のリスクが高くなる。	・プライバシーマークの認定を受け、個人情報の有効活用、従業員のセキュリティ意識の向上を行っている。顧客に対しての信頼度の向上も期待できる。
○ 顧客への電話対応について 代表電話での発信・着信・保留・転送がテレワーク勤務者では難しい。	・クラウド電話の導入によりテレワーク勤務者も代表電話で発信・着信・保留・転送が可能に。インターネット回線に繋がっていれば場所が離れていても内線通話が無料になり通信コストの削減が期待できる。

3．実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題・不安及び手続きなど	克　服　方　法
○　コミュニケーションの量、質の減少 離れた場所で作業しているので孤独や不安を感じやすい。	・コミュニケーションを円滑にするために WEB 会議やチャット会話を多くしている。又、定期的に出社してからミーティングを行うようにしている。
○　営業活動が難しい テレワークでは対面での営業活動が難しい。	・オンラインセミナー、リモートでの商談を行うことにより、コロナ禍の中でも営業活動ができている。 ※顧客の IT リテラシーに左右される
○　契約書等の作成が難しい。 印鑑が必要な書類作成のために出社が必要。	・電子契約システムの導入によりクラウド上で契約を完結することが可能になった。印刷、郵送が必要なくなり契約がスピーディーになった。

4．テレワーク形態

＜対象者＞　　全従業員

＜作業場所＞　基本は自宅

＜実施のプロセス＞　テレワークが基本なので申請なし。出社時に上長に申請を行う。

＜形　態＞　会社支給のパソコン、スマートフォンを使用。

※新型コロナウイルス感染症対策の一環として在宅勤務を推奨している。

5．実施後のメリット

〇活躍している労働者が育児・介護などで職場を離れていくことが非常に残念だったがテレワーク導入により働き続けることができるようになった。

〇コストの削減（旅費交通費 20%減）
テレワークの導入でスピーディーに業務ができるようになった。

〇台風や大雨の場合に自宅で業務を行うことができるようになった。